教育の情報化を推進できる人材に

2026年度
教育情報化コーディネータ検定試験

教育の情報化や情報教育の推進には、専門的な知識と豊富な経験をもった人材が必要です。見通しのないシステム化や機器の導入は、投資に見合うだけの成果を出せず、期待が裏切られることになるからです。教育情報化コーディネータ（ITCE）検定試験は、学校や高等教育機関など教育の情報化をコーディネートできる人材を認定する制度です。新しい学習指導要領の実施やGIGAスクール構想の実現で、ひとり１台のPC、プログラミング教育の導入など情報化やICTを使った学習機会が進む現在、教育情報化コーディネータ（ITCE）認定者への期待と活躍の場がますます広がっています。

検定のレベルと認定

教育情報化コーディネータ認定には、1級、2級、3級のレベルがあります。3級検定の合格者には２級試験の受験資格が与えられ、2級1次および2次試験を経て2級資格が認定されます。2級合格者はこれまでに全国で250名弱ですがそれだけにその資格と能力は社会的に信頼され、合格者は教育の情報化のさまざまな分野で活躍しています。３級は、2級への登竜門として、一般企業からも多くの方々が受験されています。

	３級	２級１次	２級２次
試験日	2026年6月7日（日）	2026年9月20日（日）	2026年12月6日（日）
Web申込	4月13日(月)～ 5月12日(火)	７月14日(火)～ ８月９日(日)	10月13日(火)～ 10月28日(水)
受験資格	原則として20歳以上	3級取得者	2級1次合格者 (2023年以前の1次合格者は除く)
会場	東京・大阪・ 名古屋・札幌・ 仙台・広島・福岡 ほか 全国主要都市のテストセンター	オンライン（在宅受験） ※前半は試験監督者による 遠隔監視システムを利用	東京
試験内容	専門知識〔技術編・学習篇〕 （CBT選択問題）	前半：専門知識（CBT選択問題） 後半：問題分析・説明力 （課題に対する動画を提出）	総合的課題解決 事前（約1カ月前）に与えられた課題の提出、口頭試問
受験料	9,800円（税込）	12,800円（税込）	13,800円（税込）

認定委員長より　ITCE認定委員会委員長　山西 潤一　富山大学　名誉教授



教育情報化コーディネータ検定試験は開始から20年以上が経過しました。これまで数多くの認定者が輩出され教育現場や教育サービス企業などでITCEとしての役割を果たしています。一方、ICT支援員能力認定試験は2013年に始まりました。近年は、GIGAスクール構想の実現などひとり１台の端末を活用する時代に入り、教育現場ではますますICT支援員の必要性が高まってきています。この分野の知識や技能をもった人材として活躍するためにも、ぜひ検定で実力を確認して頂きたいと思います。

教育情報化コーディネータ認定委員会
後援　一般社団法人 日本教育情報化振興会

［お問い合わせ］
事務局 情報ネットワーク教育活用研究協議会（JNK4）
Email　itce-office@jnk4.org
URL　https://dx.jnk4.org/itce/